



# 保護司会報

令和3年7月31日発行 北多摩北地区保護司会  
発行責任者 会長 高日孝子

東久留米市 「ブラック・ジャックとピノコ像」



## 時代の「当たり前前」

北多摩北地区保護司会会長 高日 孝子

この度、令和三年度総会に代わる書面議決により会長にご選任を頂きました高日孝子でございます。何分にも大変微力でございますので、皆様方のご指導とご協力を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

多くの「当たり前前」が消えて一年余り、新しい生活様式の中で以前の当たり前前  
の有難さを痛感しています。当たり前前  
であった人との触れ合いが困難となり、  
生きづらさが浮き彫りになった現状が  
あります。第七十一回「社会を明るく  
する運動」の「#生きづらさを生きて

いく」は、今を反映したテーマだと思  
います。また、コロナ禍を背景に社会  
全体でICT化が加速し、二〇二〇年  
には小学校でプログラミング教育の必  
修化、高校・大学でもオンライン授業  
が始まり、今や就活もオンライン、学  
校や職場でも徐々に定着しつつありま  
す。科学の進歩により一九九〇年代に  
ICT革命が始まって以来国際的にもI  
CTが広く普及していますが、これが  
これからの「当たり前前」になるのだし  
ょうか。

令和三年度ブロック別保護司組織運  
営連絡協議会は、昨年同様リモート開  
催が予定されておりますが、協議題は  
「保護司活動のICT化について」で  
す。保護司も「機械が苦手！」とは言  
つていられなくなりました。ICT化  
の導入により、生きづらさを感じてい  
る対象者への寄り添い方や支援方法も  
変わってくると思います。新しい「当  
たり前」に慣れるには少し時間を要す  
と思いますが、保護司の負担軽減に  
繋がることを期待いたします。

新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで  
おり効果が期待されるころですが、  
今年度の保護司会活動も規制・縮小の  
中での活動になります。出来ることを  
工夫しながら取り組んで行きたいと思  
います。一日も早いウィズコロナ時代  
の終息を願います。

### 着任のご挨拶



本年四月、甲府保護観察所から転任してまいりました。立川支部での勤務は三回目となります。

過去二回は地区主任官として勤務していましたが、残念ながら北多摩北地区は担当したことはありませんでした。ただ、北多摩北地区は個人的にはとても思い出のある場所です。東村山市に住んでいたときに長女が産まれました。あいに近所には頼れる身内の者がいない環境でしたが、行政を始め、地域の方々に支えて頂いて子育てが出来たという感謝の気持ちがあります。(その長女も今では高校生となり、父親には口も利いてくれないくらい成長しております。)今回は、統括保護観察官として、保護司の皆様のお役に立つことができそうです。ご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い致します。

犯罪や非行のない明るい社会を実現するためには、更生保護における活動の大きな原動力である人と人とのつながりを大切にすることが一番だと思っています。先ほ

どお話ししたように、長女が産まれた際は地域の方々に大変お世話になりました。本当に、人と人とのつながりにありがたさを感じました。

コロナ禍において、当たり前のことが当たり前にできない難しい世の中です。このような現状だからこそ、犯罪をした人や非行をした少年が立ち直る際にも、今まで以上に、困難に直面している様子があるかがあります。生きづらい世の中となつていますが、この人たちを支えることができるのも地域の皆さん、地域の力であると思えます。この基本が、人と人とのつながりの大切さであると考えています。

統括保護観察官となつた今も人との出会いを求め、いろいろな場所に出向いていく、という初心当時の気持ちは変わらず持ち続けています。保護司を始め、関係機関、地域の皆さま方と、少しでも早く気兼ねなくお会い出来ることを楽しみにしています。最後になりましたが、健康にご留意の上、引き続き、ご支援、ご指導のほど、よろしくお願い致します。



### 着任のご挨拶



小平市の主任官となりました保護観察官の尾崎と申します。どうぞよろしく願い申し上げます。

この一年以上の間、初めての事態の連続です。何が正解か求めようと「三人寄れば」の諺にならつて三人寄ろうとしようものなら「三密です！」って、困つた...

保護観察においても、保護司の皆様が「会えないこと」のもどかしさを感じながら、替わりの手段を講じていただいている状況を、報告書等で拝見しております。

毎月二度、直接その表情を見ながら話していた対象者と会わない心許なさはもちろんのことですが、一方これまで来訪の約束を守らず、会うことで精一杯でゆっくり話を聞くどころではなかった対象者に、電話でいいよと伝えたら、案外いろいろ話してくれた、というご報告をいただくこともありました。

ワクチン接種が進んでも、ピフオーコロナの日常に戻るのには難しいのかもしれない。今後は新しい日常の中で、面接の場所や報告書の提出の仕方など、新しい選択

肢が増えるよう、保護観察所でも検討されているところです。

でもやはり、ビデオ通話やオンライン会議、用は足りてもなんとなく互いの熱量が十分には伝わっていない感じがするのにも本心。

以前「愛と信頼の更生保護」という言い方がありました。保護司の皆様は熱意にばかり依存することには批判もあり、更生保護制度は改革を重ねてきましたが、私は保護司の皆様が、ただ心から対象者を案じ、時に優しく、時に厳しく語りかけることによつて、彼らの多くが「保護司は裏切ることばできないよな」と考え、立ち直ってきたのだらうと思っています。

かくいう私の祖母も保護司だったそうです。父によれば、父は祖母に促されて対象者とキヤッチボールをして遊び、字を書くのが苦手な祖母の報告書を祖父が代筆していたそうです。

保護司の皆様とご家族の皆様から感謝を申し上げ、どうぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。

若気の至りで三十年来行きつけの美容院が「原宿」。人混みへの外出を控え、もう半年以上も行っていませんので、顔写真は古いのを探し出しました。お許しください。

北多摩北地区保護司会  
会長 小 峰 立 丸

## 令和3年度 北多摩北地区保護司会 総会中止に伴う 総会に代わる書面議決結果のご報告

謹啓 陽春の候、皆様にはますますご清祥にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。  
日頃より、北多摩北地区保護司会の活動に対しましてご指導、ご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。  
さて、先般は本年度北多摩北地区保護司会の総会に代わる書面議決をお願い致しましたところ、何かとご多忙の中をご協力頂きまして、又ご意見も賜り誠に有難うございました。  
つきましては、その結果を以下にご報告させていただきます

### 1、議決結果

議案第1号	賛成115名	反対0名
議案第2号	賛成115名	反対0名
議案第3号	賛成115名	反対0名
議案第4号	賛成115名	反対0名
議案第5号	賛成115名	反対0名
議案第6号	賛成114名	反対1名
議案第7号	賛成115名	反対0名

議決権保有者数118名 議決権行使者数115名  
以上によりすべての議案が賛成多数により承認されました。

### 2、議決結果確認者

会 長 小峰立丸  
副 会 長 久下幸廣・比留間克美・清水頭賢二・篠宮正和・高田進  
常務理事 熊沢まり  
会計理事 高日孝子

3、確認場所……小平市役所6階602会議室

4、確認日時……令和3年5月19日午後2時より

以上出席者全員にて確認の上、ここにご報告申し上げます

令和三年春の褒章に際し、囃らずも藍綬褒章の榮に浴し光榮の至りです。これもひとえに多くの皆様のご指導とご支援があったからこそと感謝しております。  
伝達式及び拝謁は新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止となり残念ですが、宮殿内見学会等は九月中旬実施予定とのご連絡をいただき、楽しみにしています。  
平成十一年九月保護司の任命を受け、その二年後、四月行政の合併により西東京分区分として発足しました。広報部会で最初の広報誌を発行することになり、部会の皆様と協力して十四年三月西東京分区分便りが創刊できました。  
更生保護活動を通して多くの方々と知り合い、経験することができ、改めて奉仕、友情、修練の大切さを感じました。  
今後はこの榮譽に恥じないよう一層努力して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



人事 往来

○新任保護司

左記の方が新たに保護司として委嘱されました。どうぞよろしくお願ひいたします。

令和三年五月十五日付



小平分区  
高橋 陽子



清瀬分区  
柳原 義介



西東京分区  
小野 博之

新任の小野でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。ただ今研修のDVDを見ながら、更生保護施策の重責を感じるとともに、戸惑いもあり、身の引き締まる思いをしております。諸先輩方に教えていただきながら学んでゆきたいと思ひます。御指導・御鞭撻の程、お願ひ致します。



西東京分区  
真鍋 五十鈴

この度、西東京分区で保護司を務めることになりました。未熟でございますが、誰もが地域社会の中で住み続けられるような街づくりに少しでもお役に立てるように努めてまいりたいと思ひます。ご指導の程よろしくお願ひいたします。

○退任保護司

令和三年五月十四日付



小平分区  
前田 保正  
在職10年

♪ 卯の花の 匂う垣根に……  
子猫の額ほどの庭に今年も咲いた  
白い笑顔の見事にホッとさせられます。

十年前もこの頃でした。何を果たしていかるか意気込みと、不安や躊躇いを持ちながら歩み出し、自己の大地を実感してまいりました。様々な方々からご教授を頂き、ともかくも時を事を過ごしてまいりました。感謝の年月でした。ありがとうございます存じました。

平穏な時の流れと季節の安らかな巡り、皆様のご無事を心からお祈りいたします。

〈表紙写真説明〉

東久留米市

「ブラック・ジャックと

ピノコ像」

東久留米市は二〇二〇年の市制施行五〇周年を記念し、手塚治虫氏が漫画で生み出したキャラクター「ブラック・ジャック」の銅像を市商工会と協力して設置した。手塚氏は一九八九年に六〇歳で亡くなるまでの約十年間を市内で暮らし、「ブラック・ジャック」の連載を続けるなど数多くの作品を世に送り出した。設置場所は西武池袋線東久留米駅西口前。銅像は、漫画で良きパートナーとして描かれた「ピノコ」も並んで立っている。



編集 後記

北多摩北保護司会の皆様、会報六四号をお届けいたします。今号発行に際し、玉稿を賜りました皆様をはじめご協力いただきました方々に深く感謝申し上げます。

さて私は、初心者マークの保護司です。今年度は、北北の広報担当を拝命し身の引き締まる思いです。幼い頃から慣れ親しみ、学び、子育てしながら仕事を続けてこられたこの地区の保護観察活動と広報活動に微力ながら努めて参ります。(RS)

日常の諸事に埋もれてなかなか世界の保護司という視点をもてないが、月刊「更生保護」六月号に「京都コンGRES特集」なる表題を目にした。正確には「第十四回国際連合犯罪防止刑事司法会議」五年ごとの開催、今回は日本がホスト国。日本の保護司制度が犯罪防止・更生保護の範として世界をリードしていく感を強くする。初めての広報部の仕事に大きな指針をいただいた。うれしいことに動画も含めたすべての資料が法務省国連など関係者のお力でオンラインで読める。すばらしいことだ。あとは自分の気力の問題。(MS)

事務局 東村山分区

東村山市健康福祉部自立相談課  
相談第1係

042-393-5111(代)